

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-220118

(43) 公開日 平成9年(1997)8月26日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 D 33/34			A 4 5 D 33/34	D
34/04	5 3 5		34/04	5 3 5 C
A 6 1 M 35/00			A 6 1 M 35/00	Z

審査請求 有 請求項の数21 O L (全 5 頁)

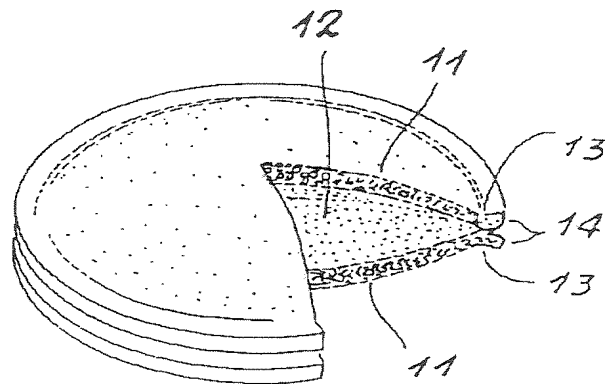
(21) 出願番号	特願平8-248403	(71) 出願人	391023932 ロレアル LOREAL フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14
(22) 出願日	平成8年(1996)9月19日	(72) 発明者	ジャン＝ルイ・アッシュ・ゲレ フランス・75018・パリ・リュ・エジェシ ップ・モロー・15
(31) 優先権主張番号	9 5 1 1 1 1 1	(74) 代理人	弁理士 志賀 正武 (外2名)
(32) 優先日	1995年9月21日		
(33) 優先権主張国	フランス (F R)		

(54) 【発明の名称】 フォームパッド

(57) 【要約】

【課題】 使用感に優れ、手にしっくりと馴染み、処置表面のあらゆる形状に追従でき、かつケア用又は処置用生成物を塗布することのできる新規なフォームパッドを提供する。

【解決手段】 本発明はスキン、爪、頭髮、及び粘膜の、化粧を含む保護及び局所処置のためのフォームパッド (foam pads) に関する。これらのパッドは、フォームから成る二つのシート 1 1 間に包まれたケア用及び局所処置用生成物 1 2 を備え、拡散させることができる。これらパッドには、パッドに柔らかさとしなやかさを与える少なくとも一つの接合部 (weld) 1 3 が設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 皮膚、爪、毛髪、及び粘膜の保護及び局所処置、特に化粧、クレンジング、穏やかな処置や手当てのためのフォームパッドであって、リム（14，24）を形成するヒンジ接合部（13，23-2）を備えた、フォームから成る少なくとも一つのシート（11，21）を備えていることを特徴とするフォームパッド。

【請求項2】 請求項1記載のパッドにおいて、フォームから成り実質的に同一のサイズ及び外形を有した二つのシート（11，21）を備え、これら二つのシートはエッジ部どうしを合わせて重畳されるとともに両者間には水溶性又は水乳化性の生成物P（12，22）から成るパウダーが包含されてされており、前記生成物Pは化粧用、皮膚科用、又は薬学用生成物であり、前記二つのシートは共に前記接合部（13，23-1，23-2）により保持されていることを特徴とするパッド。

【請求項3】 請求項1又は2記載のパッドにおいて、3～30mmの厚みを有していることを特徴とするパッド。

【請求項4】 請求項1ないし3の何れかに記載のパッドにおいて、4～20mmの厚みを有していることを特徴とするパッド。

【請求項5】 請求項1ないし4の何れかに記載のパッドにおいて、6～12mmの厚みを有していることを特徴とするパッド。

【請求項6】 請求項1ないし5の何れかに記載のパッドにおいて、前記接合部が、0.1～20mmの幅を有したリム（14，24）を形成していることを特徴とするパッド。

【請求項7】 請求項1ないし6の何れかに記載のパッドにおいて、前記接合部が、1～15mmの幅を有したリム（14，24）を形成していることを特徴とするパッド。

【請求項8】 請求項1ないし7の何れかに記載のパッドにおいて、前記接合部が、1.5～10mmの幅を有したリム（14，24）を形成していることを特徴とするパッド。

【請求項9】 請求項1ないし8の何れかに記載のパッドにおいて、同心となる複数の接合部を有していることを特徴とするパッド。

【請求項10】 請求項1ないし9の何れかに記載のパッドにおいて、前記フォームは、複数の開口セル又は複数の半開口セルを有したフォームであることを特徴とするパッド。

【請求項11】 請求項1ないし10の何れかに記載のパッドにおいて、前記フォームは、1μm～3.5mmの幅を持った複数のセルを有していることを特徴とするパッド。

【請求項12】 請求項1ないし11の何れかに記載のパッドにおいて、リムを形成するヒンジ接合部と周縁接

合部とを備え、これら二つの接合部が実質的に同心状であることを特徴とするパッド。

【請求項13】 請求項1ないし12の何れかに記載のパッドにおいて、一部が外周接合部（23-1）、一部がヒンジ接合部（23-2）となる接合部を有していることを特徴とするパッド。

【請求項14】 請求項1ないし13の何れかに記載のパッドにおいて、前記生成物P（12，22）はせっけん、シャンプー、化粧落とし、化粧品、日光浴剤、ケアクリーム、植物又は動物エキス、ビタミン、タンパク質、酵素、ミネラル塩、及び微量元素から成る群から選ばれたものであることを特徴とするパッド。

【請求項15】 請求項1ないし14の何れかに記載のパッドにおいて、前記生成物P（12，22）は50nm～3.5mmの単位粒子を含んでいることを特徴とするパッド。

【請求項16】 請求項15記載のパッドにおいて、前記生成物P（12，22）は100nm～300μmの単位粒子を含んでいることを特徴とするパッド。

【請求項17】 請求項16記載のパッドにおいて、前記生成物P（12，22）は5μm～150μmの単位粒子を含んでいることを特徴とするパッド。

【請求項18】 請求項1，3～13の何れかに記載のパッドにおいて、フォームから成る単一のシートを備えていることを特徴とするパッド。

【請求項19】 請求項1，3～13，18の何れかに記載のパッドにおいて、皮膚の処置及び局所保護のための生成物が含浸されていることを特徴とするパッド。

【請求項20】 請求項2ないし17の何れかに記載のパッドの製造方法であって、

前記生成物P（12，22）をフォームから成る一のシートの中心に配置し、

次いで、前記二つのシート（11，21）を、前記生成物Pがこれら二つのシートの間に配されるように重畳し、

最後に、前記二つのシートを前記生成物Pを包むように互いに接合する、ことにより製造することを特徴とするパッドの製造方法。

【請求項21】 請求項19記載のパッドの製造方法であって、リムを形成するヒンジ結合部を備えてフォームから成るシートを、保護及び局所処置用生成物の溶液又はエマルジョンに含浸させ、次いで該パッドを脱水することを特徴とするパッドの製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スキン、爪、頭髪、及び粘膜の、化粧を含む保護及び局所処置（治療）のための新規なフォームパッド（foam pads）に関する。これらのパッドはリムを形成するヒンジ縫い目を含んでいる。

【0002】

【従来の技術】通常、パッドは練り状またはパウダー状の物質を皮膚あるいは粘膜上に広げるのに使用され、同時に、処置すべき面を優しくマッサージする。また、これらのパッドは水、あるいは水溶液又は水-アルコール溶液を染み込ませて、あるいはそのまま、例えばクレンジングミルク等、皮膚に塗られた物質を除去する。パッドは、使用状況に応じて強めにあるいは弱めに皮膚に当てられる。従って、これらのパッドには、手にしっくりと馴染み、しかも心地好いことが求められる。

【0003】皮膚の保護及び／又は化粧のためのパッドは特に GB-A-0474732 及び US-A-2204202 より周知である。GB-A-0474732 は、間にパウダーが入れられた二つの壁部を備えたパッドを開示している。これら二つの壁部は、該パッドの周囲から半径方向に伸びた接合部によって互いに接合されている。一方の壁部は、一定量のパウダーをその壁部に保持するようにされた不浸透性部材によってカバーされている。この不浸透性部材は、このパッドを水に付けたときに、パウダー状生成物が水と完全に混合されてパウダー状生成物を泡立てるのを防止する。

【0004】US-A-2204202 はフォームより成る円形シートを備えている。このシートの厚み部にノッチが切られており、生成物を挿入できるポケットを形成している。このパッドは高密度のラテックス体、及び、複数の小孔を有したラテックススキンより成っている。この材料により、このパッドが水に付けられたときに、パウダー状生成物が水と完全に混合されてパウダー状生成物を泡立てるのを防止する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記文献の何れも、リムを形成するヒンジ縫い目を持ったパッドの存在については開示も示唆もされていない。

【0006】従来のパッドはコットン製又はフォーム製のものである。コットン製のパッドは、非常に薄いフォームより成るパッドと同様、強度及びグリップを欠き、使用しにくい。フォーム製の厚いものはかかる欠点を有してはいないものの、縫い目の部分が荒い感がある。剛性が高いため、不規則な外形を持った表面が均一でなくなる。

【0007】また、全ての用途について言えることだが、特に皮膚の保護及び局所処置においては、十分な時間を有しない消費者は、扱いが簡単で、使い捨てが可能で、さらに少なくとも従来製品と同等の機能を有した、すぐに使用可能な製品を捜し求めている。

【0008】

【課題を解決するための手段】そこで本出願人は、驚くべきことに、使用感に優れ、手にしっくりと馴染み、処置表面のあらゆる形状に追従でき、かつ保護用又は処置用生成物を塗布することのできる新規なフォームパッド

を開発した。

【0009】該パッドは、比較的大きな小孔を有しており、水と完全に混合してパウダー状生成物をフォーム状にする。

【0010】本発明は皮膚、爪、毛髪、及び粘膜の保護及び局所処置、特に化粧、クレンジング、穏やかな処置や手当てのためのフォームパッドに関するもので、このパッドは、リムを形成するヒンジ接合部を備えた、フォームから成る少なくとも一つのシートを備えている。このパッドは従来のパッドよりも扱い易くかつ柔らかいものである。

【0011】

【発明の実施の形態】このパッドはフォームから成る単一のシートを有したものであってもよい。このパッドには、スキンケア及び皮膚の局所的処置のための生成物（化粧品を含む）を含浸させることができる。例えば、ケア及び局所処置用生成物の溶液又はエマルジョンを含浸させ、その後、該パッドを脱水する方法を用いることが可能である。

【0012】また、該パッドは、フォームから成り実質的に同一のサイズと外形を有した二つのシートを備えたものであってもよい。その場合、これら二つのシートは、エッジ部どうしを合わせて重畳されるとともに両者間には水溶性又は水乳化性の生成物Pから成るパウダーが包含されており、この生成物Pは化粧用、皮膚科用、又は薬学用生成物であり、前記二つのシートは共に、少なくとも一つの前記接合部により外周部に沿って保持されている。

【0013】パウダーは、バインダに分散された、あるいはぎっしりと詰められたルーズパウダー (loose powder) を意味している。生成物Pは、50nm～3.5mm、好ましくは100nm～300μm、さらに好ましくは5μm～150μmの単位粒子を含んでいてもよい。

【0014】前記接合部により、パッドには、同じ厚さのフォームシートでは得られないドーム形状 (flattened spheroidal shape)、及び手に対してより優れた保持性が得られる。

【0015】本発明によれば、生成物Pは、パッドが乾燥している限り二つのシート間に包まれた状態となる。パッドが濡れると、生成物Pは溶解又は乳化し、該パッドの表面に向かって拡散し、処置される面に塗布される。

【0016】本発明に係るパッドの製造に用いられるフォームはどのようなタイプのものであってもよい。例を挙げるならば、ポリエステル、ポリエーテル、ポリエチレン、ポリスチレン、ポリウレタン、ポリ塩化ビニルのフォーム、その他である。これらのフォームは、パウダーの粒径に応じたサイズの開口セル又は半開口セルを有したフォームである。特に、これらのセルは1μm～

3.5mmの幅を有している。

【0017】フォームから成る二つのシートは、異なったタイプ、密度、厚さ、又は表面特性を持ったものとする事が可能である。例えば、このシートは織物、 flock (flock) 、又はエラストマーで覆うことが可能である。それらは異なった色、起伏、及び厚みのものとする事ができる。

【0018】接合部は、例えば接着、超音波、高周波による接合、又は機械的圧着等、当業者に周知のあらゆる手段によって形成することができる。

【0019】接合部は周縁から奥まった位置に形成されている(ヒンジ接合部)。この接合部の両側に前記フォームシートが互いに分岐して膨出部を形成している。

【0020】従って、フォームシートの外縁はリムを形成しており、このリムは、リム幅に応じて大きめあるいは小さめに丸められている。パッドの中心部とこのリムとの間において前記接合部がヒンジとして作動し、パッドが処置面を動くときにこのリムはブラシの端部のようになり、これにより、強調された起伏部分、例えば顔面、特に鼻の両翼部及び目の輪郭部等に届くようになる。

【0021】上記の作用効果に加え、ヒンジ接合部を有したこのパッドは、水に浸した場合、他のタイプのパッドよりも規則的かつ均一に生成物Pを拡散させる。従来のパッドでは、濡らした後、指の力が加わると、液体が逃げ落ちてしまったが、ヒンジ接合部を持った本発明のパッドは液滴を形成せず、処置面の全面にわたってムラのない液膜を形成する。

【0022】しかも、該パッドを囲む柔軟で丸められたリムは、従来のパッドの周囲に形成された外周接合部よりも柔軟性に富み、柔らかいものである。

【0023】このパッドの厚み、すなわちフォームから成る二つのシートの合計の厚みは3~30mm、好ましくは4~20mm、さらに好ましくは6~12mmである。

【0024】リムの幅は0.1~20mm、好ましくは1~15mm、さらに好ましくは1.5~10mmである。

【0025】接合部は可変幅とすることもでき、当業者によって所期の使用に適応されるものでなければならない。

【0026】本発明に係るパッド内に用いられる生成物Pは、局所に適用される化粧用、皮膚科用、又は薬学用の生成物とすることができる。これらの生成物は、パウダー、固形ジェル、又はケーキの形状で、本発明に係るパッド内に入れられる。例を挙げるとすれば、せっけん、シャンプー、化粧落とし、化粧品、日光浴剤、ケアクリーム、植物又は動物エキス、ビタミン、タンパク質、酵素、ミネラル塩、及び微量元素、等である。

【0027】これらの生成物は凍結乾燥、微粒化、脱

水、結晶化等、当業者に周知の全ての手段により所要の物理的形状とされる。

【0028】このように製造される該パッドの外形は通常丸いものであるが、その他の幾何学的形状、あるいは意匠を凝らした形状とすることも可能である。

【0029】接合部は該パッドの形状と同心的に設けることもできるが、該パッドの形状に対して偏心しているか、あるいは交差したものであってもよい。パッドは、好ましくは同心的となる複数のヒンジ接合部を有しているもよい。

【0030】本発明の変形実施形態では、前記接合部を、その一部を該パッドの外周部に位置した外周接合部、一部をヒンジ接合部とすることができ、この場合では、該パッドの周辺部のみがリムを有するものとなる。

【0031】ヒンジ接合部を持った本発明に係るパッドではさらに、リムを、外周接合部によって閉じることができる。この場合、これら二つの接合部は実質的に同心的なものとなる。

【0032】接合部は、その接合部を形成するのに用いられるツールにより異なった形状及び起伏を持つことができる。例えば、接合部は平坦、凸状又は凹状、あるいは特殊な形とすることができる。

【0033】本発明に係るパッドの製造方法は、生成物Pをフォームから成る一のシートの中心に配置し、次いで、二つのシートを、前記生成物Pがこれら二つのシートの間に配されるように重畳し、最後に、前記二つのシートを前記生成物Pを包むように互いに接合する工程を備えて成る。シートは当業者に周知の如何なる手段によっても接合される。外周接合部は、フォームを接合部と同じレベルに切断することにより得られる。

【0034】

【実施例】図1に示したパッドは、フォームから成る二つのシート11と、これら二つのシートの間に配設された局所処置及びケア用生成物12と、これらフォームのシートを互いに挟み込むヒンジ接合部13と、リム14と、を備えている。フォームは上述した如きものである。

【0035】図2に示したパッドは、フォームから成る二つのシートと、これら二つのシートの間に配設された局所処置及びケア用生成物12と、これらフォームのシートを挟み込むヒンジ接合部13と、を備えている。この接合部は、該パッドの周辺部の第一の部分にわたる外周接合部23-1と、この周辺の他の部分にわたるヒンジ接合部23-2と、である。ヒンジ接合部23-2がリム24を形成している。

【図面の簡単な説明】

【図1】 ヒンジ接合部を備えた本発明に係るパッドを一部切り欠いて見た斜視図である。

【図2】 一部が外周接合部となり一部がヒンジ接合部となる接合部を備えた本発明に係るパッドを一部切り欠

いて見た斜視図である。

【符号の説明】

11, 21 シート
物P

12, 22 生成

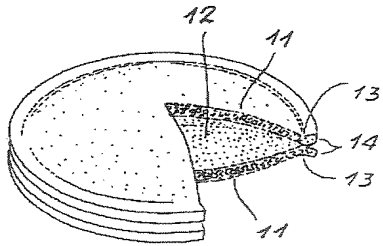
14, 24 リム

ヒンジ接合部

13-1 外周接合部

13, 23-2

【図1】



【図2】

